

○事業所名	こころとそだちの支援室 ぼーれWing		
○保護者評価実施期間	8年 1月 16日		8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	8年 1月 16日		8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種のスタッフによる支援体制が整っていることで、丁寧なアセスメントができる。	保育士、公認心理師、社会福祉士、作業療法士などの多職種の支援者で、それぞれの視点からの見立てを共有しながら、一人一人のお子さんに合わせた支援について検討しながら行っている。	活動の振り返りの際や会議の時など相談しながら、その都度必要な配慮や支援を心がけています。活動内容についても、研修等を行いよりスキルアップしていけるようにする。
2	月1回、家族支援サポート(親サポート)ができ、保護者との近況を伝え合う機会がある。	当事業所での子どもの様子だけでなく、ご家族から家庭や学校でのお子さんの様子を聞き、共有することで、よりお子さんの理解を深め支援に生かすことができている。	月1回の個別での家族支援を継続しながら、保護者向けの研修会や親グループなども機会を多く設けて、保護者支援もより一層充実させていく。
3	スタッフが知識を学ぶための定期的な勉強会が開催されている。	公認心理師のスーパーバイザーに、定期的にグループSVを受けることや、職員が専門性を高めるための研修に出席できるようにしている。	専門的な知識をスタッフが持てるよう定期的な勉強会や外部の研修会に積極的に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中高生の子どもたちが利用するのに十分なスペースを確保することや、小学生の子どもたちが安全に部屋を利用できるよう、活動に合わせて活動の部屋や場所、グルーピングの検討が必要	活動や部屋の使用状況に応じて、活動場所が変わることがあり、その都度利用する子どもたちに応じての環境設定が必要となる。	子どもがわかりやすいよう、視覚支援をもちいたり安全に安心して過ごせるよう年齢や特性に合わせて、グループ分けをして支援をしたり、部屋の構造や刺激の調整をするなど、日々環境調整をしていく。
2	地域との交流できる機会を多く設けることができていない	地域の方にも来ていただける事業所主催のお祭りもあり、近所の方や子どもたちも参加していただきましたが、利用者の方々に周知していただけていなかった。	活動についての発表の機会や展示会、お祭りなどを開催し、地域の方にも参加していただけるようにして多く知ってもらえるような工夫が必要。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染防止マニュアル等が保護者に周知されにくい。	各マニュアルについては、待合に閲覧可能な資料としておいてあるが、送迎が基本の当事業所においては、保護者が閲覧する機会はとてもなく、結果的に周知されにくい状況となっている。	年度初めに開催する保護者説明会の際などに説明をしたり、閲覧できるようにするなど工夫を行っていく。また、ホームページにも掲載するなどして閲覧しやすい方法を検討

公 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こころそだちの支援室 ぽーれWing
------	--------------------

公表日 8年 3月 12日

利用児童数 39名

回収数 29名

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93.10%	3%	0%	3.40%	・活動場所もいくつかあり、確保されていると思う。 ・室内や広場でやりたい活動をさせて頂けて、楽しんでいます	ご意見ありがとうございます。活動の場が広がるよう努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	96.60%	0%	0%	3.40%	・通い始めの頃よりも、先生達が増えたなと感じました。 ・不安にならないよう配慮していただき助かっています ・安心した環境で先生やお友達と関わっています	今後も利用されているお子さんが安心してご利用できるようスタッフを配置し活動を行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79.30%	6.90%	0%	13.80%	・絵で示され、分かりやすくなっている所もある。 ・本人は困っていないようです。 ・個々に遊べる環境はとても良いと思いますが、このは階段が急なので少し怖いです	階段については、降り際には手すりを使ったり、ゆっくり降りるように伝えながら、子ども達が安全に利用しやすいよう工夫を重ねていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93.10%	3%	0%	3.40%	・綺麗に片付いている。 ・いつも本人の特性に合わせて柔軟に対応して頂いています	ありがとうございます。今後も心地よく過ごせる環境を作っていきたいと思っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93.10%	0%	0%	6.90%	・いつも、状態に合う助言をもらっていると思う。 ・行きたくない、ただ通り過ぎるだけで何もしないと云います。 ・本人がリラックスして過ごせています ありがとうございます ・子供が安心して過ごしている姿をみて有難いばかりです ・いつも丁寧にお願いいただいていると思います	ご意見ありがとうございます。小学生のお子さんにはスタッフがリードしたり、サポートを行いながら関わることが多く、中学生にはその子に合わせて見守りの支援を行うこともありますが、お子さんの気持ちを十分くみ取れていないこともあったかもしれません。お子さんとより対話をし、中学生の居場所支援の中でもお子さんのニーズに合わせて関わっていきたく思います。利用されている方が満足できる時間を過ごせるようスタッフで日々検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	86.20%	0%	0%	11.10%	・個別対応からグループまであり、支援内容はあっていると思う。 ・いつも子供が興味を持つような支援プログラムを組んでくださり、ありがとうございます ・本人が楽しく活動に参加できています	ありがとうございます。ぽーれWingの支援プログラムは、当法人のホームページにも掲載されておりますので、ご覧ください。またいつでもスタッフにお尋ねください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ニーズに合った計画だと思う。 ・本人の特性に合わせて、適切な指導をして頂き、助かっています	ご意見ありがとうございます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定	89.70%	0%	0%	10.30%	・良く理解してもらっている ・子供だけでなく親の関わり方についてもアドバイスや悩みを聞いて頂き、学校との関わりもご指導頂けています	個別支援計画に対し、今後も具体的にご説明をするよう努めていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・頑張りがすぎず点等、注意してもらえている。 ・ご指導のおかげで、以前と比べて自分の気持ちを周囲に伝えられる様になりました。精神的に落ちついてきて、安定して参加できるようになりました	ご意見ありがとうございます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89.70%	0%	0%	10.30%	・色々な体験も出来て良いです。 ・ゲームや運動、料理、お出かけ、買い物など本人が楽しめる活動が選択できます	今後も利用される方が、楽しめる活動を提供できるよう、スタッフ一同工夫をしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21.40%	14.30%	35.70%	28.60%	・今年度の秋のお祭りで近所の方など来ている事が分かった。 ・本人が大勢の中や慣れない環境に入っていくので、本人の希望に合わせて参加したいと思えます	地域との交流の場が、秋に開催された「お祭り」となっておりますが、そういった機会を増やしていくことも当事業所の課題となっております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	86.20%	10.30%	0%	3.40%	・通い始めの頃あった。 ・分かりやすく説明して頂いています	年度の始まりには、保護者説明会を開催しプログラムについてのご説明をさせていただいております。運営規定や重要事項説明書は、待合に閲覧可能な資料としておいてありますので、ご覧ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	89.70%	0%	0%	10.30%	・毎年しています。 ・本人に合わせて無理のない支援をしていただけています	個別支援計画においては、支援内容をお伝えできるよう今後、努めていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	96.60%	0%	0%	3.40%	・たくさん機会があります。 ・家族支援プログラムがあるおかげで本当に助かっています。 ・本人に合わせて無理のない支援をしていただけています	ご意見ありがとうございます。お子さんを支えるご家族の支援も充実させていきたいと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	79.30%	17.20%	3.40%	0%	・月1回は確認出来ています。 ・いつも本人のやりたい活動をさせて頂き、楽しんで参加できています ・色々お知らせしてもらるので助かります	月1回の親サポートのみならず、担当とも保護者と日頃の様子を共有できたらと思っています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	89.70%	6.90%	0%	3.40%	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回出ています。 ・家庭での困り事に対して一つ一つ丁寧に答えて頂き、助かっています。 ・兄弟関係の話でもよく聞いて頂けると思っています。 	今後もお子さん保護者の方と共感しながら支援できるよう努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96.60%	0%	0%	3.40%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても思っています。 ・いつも親子で気持ちを受け止めて頂き、安心して子供に、向き合えています ・共感してもらえてと感じます 	いつも親サポートに来ていただいたり、職員と日頃からやりとりしていただきありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	65.50%	17.20%	0%	17.20%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会？忘年会？またあったら参加したいです。 ・きょうだい同士の交流は、分らないです。 ・ご兄弟向けに関してはわかりません。 ・あまり参加できていませんでした。 ・秋祭りは姉妹たちもとても喜んで参加できました 	そだちばや今年度のぼんぼーくなどご家族ご兄弟の交流がもてるイベントをもっと知っていただけるよう工夫をしていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	69.00%	17.20%	0%	13.80%	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような体制がある事は知らなかった。 ・以前のように週2回にしてほしい。利用者が多いので仕方ないことは理解しています。 ・いつも相談に乗っていただいています 	お子さんや保護者の方からの相談については、今後も迅速に対応できるような体制を整えていきたいと思っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82.80%	13.80%	0%	3.40%	<ul style="list-style-type: none"> ・子供には内緒で様子を教えてもらいう事もあり、配慮さられていると思う。 ・LINE等で共有できていると思います 	スタッフの配慮が十分でないこともありまますので、お子さんの家庭の様子なども教えていただければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	79.30%	0%	3.40%	17.20%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、通信を見えています。 ・お便りから子供の様子がよくわかります。楽しみにしています 	日頃の活動は、毎月の「ここそだ新聞」にて掲載していますが、活動の様子はもっと発信できるように検討しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.10%	0%	0%	6.90%	<ul style="list-style-type: none"> ・特別、個人情報の扱いで、おかしいと思う事は無いです。 	今後も個人情報の取扱いに注意を重ねていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	62.10%	3.40%	10.30%	24.10%	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な対応マニュアルがある事は知らなかった。 ・このへでは避難訓練の話を見ました。 	各マニュアルはありますが、保護者に周知されるよう、努めています。各マニュアルについては、待合に閲覧可能な資料としておいてありますので、ご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	58.60%	3.40%	0%	37.90%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練している。 	年2回の避難訓練の他、消防署へ依頼し、実際に消火器を使ってみる機会をつくり、今年度は寝袋を体験する防災宿泊を企画してみました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	72.40%	0%	3.40%	24.10%	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な面はないと感じます。 	ありがとうございます。今後も安全計画も作成し、安全に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	65.50%	0%	0%	34.50%	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに事故が発生した事が無いです。 ・事故や怪我をしてないので、わからないを選択させていただきます。 	グループ利用のお子さんには、緊急連絡カードの記入をお願いしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	93.10%	3.40%	0%	3.40%	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して通っています。 ・安心しています。 ・体調に合わせて無理なく参加しています ・いつも楽しそうにお話してくれます 	ご意見ありがとうございます。お子さんが安心して楽しく来所してくださっていること、とてもうれしく思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	86.20%	6.90%	0%	6.90%	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通っていると思います。 ・安心して過ごせる大事居場所になっています。 ・学校より心地よいのかもしれない 	利用されているお子さんが、安心して活動出来る居場所となるよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	96.60%	3.40%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年の近い子達と一緒に、家では出来ない体験もさせてもらい有難うございます。 ・近所に支援していただける場所があり、本当に良かったです ・手厚く支援いただけてと思います 	今後もスタッフ一同、努力させていただきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こころそだちの支援室 ぼーれWing		公表日		8年 3月 12日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	・活動場所が週によって変わる場合があり、その時には事前に連絡をするなどして対応しています。 ・限られた部屋数だが利用者の人数にあうよう調整している。 ・年齢や特性等に合わせスペースを分けている	・活動内容によって、施設外での活動をするこもあるため、子ども達が見通しを持って安全に過ごせるようにしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	・必要に応じて支援を行う職員の人数を調整している（最低基準よりも多く配置する）ため、子どもに対して職員が充分にいる状況です。 ・子ども達の様子や活動の内容に合わせて、基準より人員を多めに配置するなどして対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	70%	30%	・活動の振り返りの際や会議の時などに相談しながら、その都度必要な配慮や支援を心がけています。 ・限られた環境で利用児にわかるよう工夫している ・視覚支援など、子どもにとってわかりやすい方法の活用を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・活動が終わった後に必ず清掃を行っています。活動の際には、机の配置などをグループごとに変えたり、その時の子どもたちの人間関係に配慮したりして空間作りをしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	10%	・小さい個別部屋も活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・プログラムの前後に目的の共有と振り返りが適切になされていると感じる。 ・活動後や気になること、対応方法にわからない時には職員間で話をしながら共有を行うようにしていると思		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者の評価をスタッフで共有し、改善していきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	・外部の機関による第三者評価は行っていませんが、保護者や職員による自己評価を行っています。実情について把握していない職員がいたため、周知していく必要がある。	・実状がわからず「いいえ」で回答 ・第三者評価の内容を自分自身が確認していないため、いいえにしました。 ・外部による評価は、未実施	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			・公表しているが周知されていないので、工夫したい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			・日々の行動観察に基づくアセスメントはしっかりと行われているように思います。ただ標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメント、という観点はもう少し検討が必要かもしれません。（少なくとも自分の知っている範囲ではあまり見えてはおりませんでした）	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			・担当制で、行っているが、打ち合わせをもう少し増やしたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・送迎を含め視覚化している	・はいとはしたが、非常勤や兼務の職員に入ってもらい際に情報の共有は難しい。wing のみであれば行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	・振り返りで、情報共有も合わせて行っている ・振り返りの時間を設けることはあまりないが、気になる子に対しては声を掛け合いながら様子の共有を、行うことができていると思う。	・送迎の関係上、当日にできないことも多い
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・Hagに毎回記録を残し、支援方法の振り返りをする事で検証につながっていると思う	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・小1から自分で選べるように活動を提示している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・地域との連携はしっかり行われておりますが、他機関連携やケースマネジメントを主に担う社会福祉士等の専門職数はやや不足していると感じます。個別支援に強い心理士や保育士が多く在籍していることはほれWingの強みだと思います。バランスをどう整えていくのが今後の検討課題かと存じます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	77.80%	22.20%		そのようなケースがまだない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	・地域の方やお子さん、関係者が参加できる、お祭りや展示や発表するイベントを開催している。 ・秋祭りが該当しているかとおもいます。	・詳細わからず
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	77.00%	22.20%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	90%	10%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	10%	・年二回、グループ行事を実施している	

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	90%	10%	・秋祭りの実施 ・お祭りや、展示や発表するイベントに地域の方や関係者を招待する機会を作っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		・それぞれ訓練はしているもののスタッフと保護者への周知がされていないので、周知の方法を検討したい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・スタッフ一同で対応時を学んでいる。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・何度はじめのアンケートでアレルギーのある利用児の一覧表をスタッフルームに掲示している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・今年度より、グループ利用の方は緊急先連絡カードの記入をお願いした。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	70%	30%		